v73 新機能 クイックガイド

データベースの論理値フィールド

ご存知でしたか?... 論理値フィールドを使って、要素が特定の条件を満たすか どうかを識別できます。

データベースの論理値フィールドを使うことで...

- フィールドに入る "Yes" または "No" の値を使って、要素を識別できます。
- テーブル表示では、グレーボックスの中に赤のチェックを入れると "Yes" になり、空欄は "No" を示します。
- 単一レコード表示では、"Yes" を入力すると、デフォルト値の "No" から変更できます。

CLASS - Table	e Properties	
■ CLASS - Table Class Yield-wheat デーブル表示	Properties Table Field Constraints Name Field-wheat Description Show legacy object name that is valid for versions 2005:71 and earlier Field type Logical Width Unicode String Unit Type Indexed Unit Type Indexed Unit Type Date Image Indexed Image Indexed Image Object (BLOB) Computed String expression OK Cancel	
Table Edit Record Field 1	Help Hel	Help d) 単一レコード表示の 場合、論理値フィーレドには "Yes" か No"のどちらかの値 が入ります。 "No" がデフォルトの値です。

上図の例では、論理値フィールドは「soil type(土壌タイプ)が yield of wheat(小麦の収穫高)を持つかどうか」を示しています。

データベースの論理値フィールドを作成する方法

- データベーステーブルで新規フィールドを作成します。
- [フィールドタイプ]メニューから[論理値]を選択します。
- テーブル表示で、グレーボックスを空のままにすると "No"、グレーボックスの上でクリックすると "Yes" を示す赤 のチェックが入ります。
- 単一レコード表示では、"Yes" を入力すると、デフォルト値の "No" から変更できます。



マイクロイメージのウェブサイトをご覧下さい

さらに知りたいことがあれば...